

横浜開港資料館・都市発展記念館

副館長の西川武臣さんを講師にお招きして
開港都市横浜の交通手段が、明治維新後
どのように近代的に発展していったのかを
わかりやすく解説していただきます。



第3回しでんほーる連続講座 近代的交通手段の登場

日時 3月4日(土) 13:30-15:00
場所 横浜市電保存館しでんほーる
定員 先着45人 参加費 入館料のみ

西川武臣さん(プロフィール)

明治大学大学院史学専攻科卒業

「生糸貿易と横浜商人 生糸売込商体制の成立過程」で博士号を取得

日本史学者 専門は日本近世・近代史

著書「横浜開港と交通近代化」「ペリー来航 日本・琉球をゆるがした412日間」

「江戸内湾の湊と流通」「幕末・明治の国際市場と日本 生糸貿易と横浜」

「横浜開港と交通の近代化 蒸気船・鉄道・馬車をめぐって」等多数



横浜市電保存館(磯子区滝頭3-1-53)

お問い合わせ 754-8505

根岸駅から21・78・133系統「市電保存館前」下車すぐ

吉野町駅から113・156系統「滝頭」下車徒歩3分

Development and
Urban Transport History
in Yokohama

横浜の発展と
都市交通のあゆみ

横浜は開港の歴史をとり、都市交通の発展を遂げた。その歴史をたどると、開港から現在まで、交通手段の進化が、都市の発展を支えてきたことがよくわかる。この講座では、開港から現在までの横浜の交通の歴史を、写真や図表を用いてわかりやすく解説する。また、開港当時の交通手段の進化や、近代化の過程についても詳しく紹介する。ぜひご参加ください。